

(様式1)

令和7年度 学校評価結果報告書(高等学校用)

(1) 学校教育目標	全日制普通科単位制を生かし、生徒一人一人の興味・関心や進路志望等に応じたきめ細かな教育活動及び自己の可能性を最大限に引き出すキャリア教育により、個性を伸長するとともに、地域や大学、国内外の高校と連携・協働した探究活動を通して、教科等横断的な視点を育み、探究心を持った、社会の持続的な発展を担う人財を育成する。	学校整理番号	12			
(2) 現状と課題	1 単位制高校として、生徒の興味・関心や適性に対応する多様な選択科目(学校設定科目)を開設しており、卒業後の進路は、大学を含む上級学校進学率が90%を超えている。地域社会を牽引するリーダーの育成や青森県の課題解決に取り組むことができる人財の育成や学びの多様化を踏まえた教育課程の編成や習熟度別授業などきめ細かな教育活動の充実が求められている。 2 不安や悩み事等を抱える生徒に対する教育支援の充実を図る必要がある。	学校名	青森県立八戸北高等学校			
(3) 重点目標	1 授業力・生徒指導力・進路指導力のさらなる向上	全日制の課程				
	2 人権が尊重され生徒が安心して学べる環境づくり	自己評価実施日	令和8年2月16日(月)			
	3 生徒が互いに教え合い学び合う学校風土の醸成	学校関係者評価実施日	令和8年2月19日(木)			
	4 生徒個々に応じた指導	(9) -イ 学校関係者評価委員会の構成				
(4) 結果の公表	学校ホームページで公表する	学校評議員 4名、保護者代表 4名 計8名				
自 己 評 価		学校関係者評価		(10) 次年度への課題と改善策		
番号	(5) 評価項目	(6) 具体的方策	(7) 具体的方策による目標の達成状況		(8) 目標の達成度	(9) -ア 学校関係者からの意見・要望・評価等
1	授業力・生徒指導力・進路指導力のさらなる向上	・授業参観、研究授業や情報交換 ・研修会等への参加 ・大学や受験に関する情報収集	・授業参観週間の設定のほか研究授業を実施し、授業力向上につなげた。また、他校の授業参観や意見交換を実施した。 ・校外研修会へ参加するとともに、積極的に情報収集に努めた。	A	・県立高校を取り巻く環境も厳しくなっているが、先生方も学びを深めながら協力して、より魅力ある学校づくりに取り組んで欲しい。	・学習評価について、学びを深め改善し、さらなる充実に向けて取り組む。 ・「多様な学び」「個別最適な学び」「協働的な学び」充実のため、研修等に取り組む。
2	人権が尊重され生徒が安心して学べる環境づくり	・個別面談の実施 ・教育支援委員会による取組 ・いじめアンケート、スクールカウンセラーやメンタルコーチの活用	・面談週間の設定のほか、副担任制等を含め日々の生徒観察に努め、情報共有するとともに状況に応じて面談を実施した。 ・定期的に教育支援委員会を開催し、情報共有に努めるとともにスクールカウンセラーと連携しながら対応を行った。	B	・多様化している生徒に対応するため、研修会等へ参加するなど、より安心して通える学校づくりを行って欲しい。また、アンケート等を有効活用し、生徒理解に努めながら生徒支援に取り組んで欲しい。	・生徒が安心して学べる環境づくりのために、個別面談や生徒アンケート等を充実させる。 ・スクールカウンセラーと教員との連携を深め、教員の資質向上を図る。
3	生徒が互いに教え合い学び合う学校風土の醸成	・学習意欲向上のための働きかけ ・学習環境の整備 ・読書の励行	・学ぶ意欲向上のため授業自己評価を行い、授業改善に取り組んだ。 ・自学しやすい環境づくりとして、廊下等へ机・椅子を配置するとともに日常の清掃、計画的な環境整備を行った。 ・定期的に新着図書紹介や図書便りの発行を行うなど読書の励行に努めた。	B	・学習環境について、とてもよい環境である。環境を維持しながら、より生徒が意欲を高くもち、学校生活を送ることが出来るよう支援して欲しい。	・学校の活性化のために生徒会活動を支援するとともに、より主体的に学校生活を送ることが出来るよう校則の見直し等に取り組む。 ・引き続き、清掃活動や定期的な環境整備に努め、よりよい環境づくりに取り組む。
4	生徒個々に応じた指導	・習熟度別授業等によるきめ細かな指導 ・教科面談の実施 ・授業アンケートの活用	・教科により、習熟度別授業を展開した。 ・調査前に希望者に対する講習等を実施した。また、調査終了後等に教科面談を実施し生徒理解や意欲向上に努めた。 ・授業アンケートにより生徒の把握及び授業づくりに活用した。	A	・先生方からの話やアンケートから先生方の粘り強い指導の状況が窺える。多様化している生徒への対応等も大変だと思うが、引き続き、よりよい指導を行い、生徒を導いて欲しい。	・時代の変化と今後の社会展望を見据えた教育のために、教員の資質、能力の向上に努める。 ・生徒との対話を深め、生徒理解に努め、生徒に寄り添った指導を行う。
(11) 総括	学校の目指す姿として設定したグラデュエーション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーのもと学校教育目標を掲げているが、社会の変化や学校を取り巻く環境の変化に柔軟に対応するためにも定期的に見直しを図りたい。多様化する生徒への対応のため、生徒の興味・関心や適性に対応する多様な選択科目の開設や、生徒がより安心して通える環境づくり、キャリア教育等のさらなる充実を図り、よりよい学校づくりのための教育活動に取り組みたい。					